

科目名	計画学基礎 Infrastructure Planning			担当教員	今岡 芳子			
学年	4年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2	
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	15134021	単位区分	履修単位	
学習目標	この科目では、都市計画や地域計画の計画立案作業を実践する上で、必要となる基本的な知識や技術を学習する。国土・地域・都市の各計画の歴史と現状を理解しつつ、今後の土地利用・都市施設・景観・防災・意見合意などについて理解していく。							
進め方	板書およびスライド中心に講義を行うが、適宜、プリントの配布やコンピュータを利用し理解を深める。またレポートをはじめとする演習課題によって知識の定着を図る。							
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標				
	1. 計画学の意義(4) (1) 計画の体制 (2) 費用便益分析と評価 2. 各種計画の変遷 (1) 都市・環境都市の計画の変遷 (2) 地域の計画の変遷 (3) 国土の計画の変遷 ----- [前期中間試験] (2)			・計画の意義や計画学の考え方を理解している。 ・諸外国の地域計画や近代都市計画の思想や特徴などについて理解している。 ・国土形成計画について、その変遷と系譜について理解している。 (B-2) [B-2]				
	3. 都市・地域計画に関する基本的事項 (1) 国土・地域・都市の考え方 (2) 地域・都市計画の手続き（策定） (3) 日本の国土・地域・都市計画の関連法規 ----- 前期末試験			・国土と地域の定義を理解している。 ・都市計画や地域計画の基本的な策定方法を理解している。 ・都市計画法における地区区域・地区計画および都市施設・開発などについて説明できる。 (B-2) [B-2]				
	4. 土地利用計画 (1) 土地利用計画の概要 (2) 都市計画区域の区域区分と用途地域 5. 都市整備の手法 (1) 市街地開発事業 (2) 中心市街地の活性化 (3) 公園緑地の計画 ----- [後期中間試験] (2)			・土地利用計画について理解している。 ・都市計画区域の区域区分と用途地域について理解している。 ・土地区画整理事業について理解している。 ・市街地開発・再開発事業について理解している。 ・緑化と環境整備・公園緑地の種類と役割について理解している。 (B-2) [B-2]				
	6. まちづくりと地域生活空間計画 (1) 防災と景観整備の計画 (2) 市民参加とワークショップ (3) アンケートに関する調査とデータ (4) 確率統計と統計的処理の概要 ----- 後期末試験			・都市の防災と景観について理解している。 ・市民参加とワークショップについて理解している。 ・アンケート調査の概要について理解し、簡単な統計処理の計算ができる。 (B-2) [B-2]				
	試験返却(1)							
	評価方法	4回の定期試験を80%、演習や課題への取り組みとその内容を20%で評価する。 学習項目ごとの全体評価への重みは、学習項目1～2, 3, 4～5, 6のそれぞれを、25%とする。						
	履修要件	特になし						
	関連科目	計画学基礎（4年）→ 地域整備学（5年）						
	教材	配布プリント、スライド 教科書：磯部 友彦ほか(2014)：都市計画総論，鹿島出版社，ISBN：978-4306073081 参考書：新谷 洋二ほか(2014)：都市計画(四訂版)，コロナ社ほか，都市計画，土木計画に関する書籍						
備考	単位追認試験および再試験を行う科目である。 配布するプリントや資料は各自で保管・整理すること。原則的に紛失しても再配布は行わない。							